科学研究費助成事業 研究成果報告書

令和 元年 6月13日現在

機関番号: 12603

研究種目: 基盤研究(C)(一般)

研究期間: 2015~2018

課題番号: 15K01866

研究課題名(和文)多元国家マレーシアにおける歴史教科書問題 歴史観・論争・影響

研究課題名(英文)History Textbook Controversies in a Diverse Country: The Malaysian Case

研究代表者

左右田 直規(Soda, Naoki)

東京外国語大学・大学院総合国際学研究院・准教授

研究者番号:30345318

交付決定額(研究期間全体):(直接経費) 2,400,000円

研究成果の概要(和文):本研究の目的は、多元国家マレーシアの歴史教科書問題の構造と動態を明らかにすることである。具体的には、 歴史教科書に描かれた「国史」の歴史観がいかなるものなのか、 歴史教科書はいかなるプロセスや政治力学の中で作成されるのか、 歴史教科書の叙述をめぐる論争の争点は何であり、対立軸はどこにあるのか、 歴史教育の現場で歴史教科書はいかにして受容され、いかなる影響を及ぼしているのか、について検討を加えた。

研究成果の学術的意義や社会的意義 本研究を通じて、 マレーシアの歴史教科書に描かれた「国史」の構造と特質が浮き彫りにされ、 歴史叙述を めぐる論争の争点と対立軸が示され、 歴史教科書の受容の実態が明らかにされるとともに、 本研究の事例か ら、多元国家における歴史認識をめぐる課題と方策が探求された。これらの成果には、東南アジア地域研究にお ける学術的意義とともに、歴史認識・歴史教科書問題への理解を深めるという意味で社会的意義が認められる。

研究成果の概要(英文): This study aims to examine history textbooks controversies in a diverse country like Malaysia. For this purpose, it explores (1) conceptions of national history in history textbooks, (2) the process of planning and writing history textbooks, (3) main issues and the points of argument in history textbooks controversies, and (4) the impact and effects of history textbooks on history education.

研究分野:東南アジア近現代史

キーワード: 歴史認識 歴史教科書 ナショナリズム

1.研究開始当初の背景

申請者はこれまで英領マラヤにおける植民地教育とマレー民族意識の形成をめぐる思想 史を研究してきた。その研究の中で、英領マラヤで使われた複数の歴史教科書に見られる 共同体認識、空間認識および時間認識の特質を解明し、歴史教育がマレー民族意識の形成 に及ぼした影響を明らかにした。本研究は、「植民地史」の形成に関する申請者の過去の 成果を基盤としつつ、それを独立後の「国史」の構築に対する研究へとつなげることにより、マレーシアにおける歴史教科書問題の構造と動態をより長いスパンで理解することを 試みるものである。

2.研究の目的

歴史教科書はナショナリズムと深い関わりを持ち、しばしば歴史認識をめぐる論争や対立を生む。民族・宗教・地域などの面で卓越した多様性をもつマレーシアもその例外ではない。

本研究の目的は、多元国家マレーシアの歴史教科書問題の構造と動態を明らかにすることである。具体的には、 歴史教科書に描かれた「国史」の歴史観がいかなるものなのか、

歴史教科書はいかなるプロセスや政治力学の中で作成されるのか、 歴史教科書の叙述をめぐる論争の争点は何であり、対立軸はどこにあるのか、 歴史教育の現場で歴史教科書はいかにして受容され、いかなる影響を及ぼしているのか、を明らかにすることを目的とする。

3.研究の方法

本研究は具体的に以下のような方法で行われた。

- (1)先行研究の検討ならびに分析視点と射程の確定 教科書の歴史学的・社会学的研究、ならびにマレーシアの歴史教科書を論じた先行研究を検討し、本研究の分析視角と射程を定めた。
- (2)歴史教科書および関連資料の収集と言説分析 歴史教科書ならびに歴史教育に関わる公的資料を収集し、その言説を分析した。
- (3)歴史教科書をめぐる論争の抽出と分析 新聞・雑誌などのメディアで展開された歴史教科書をめぐる論争を抽出し、その争点と対立軸を探った。

4. 研究成果

本研究の成果は以下の通りである。

(1)歴史教科書に関する先行研究の検討と分析視点の設定

第一に、教科書に関する歴史学的・社会学的研究を参照し、本研究の分析視角を設定した。教科書分析の理論研究、アジア諸国における歴史教育と歴史教科書に関する比較研究などを収集・検討した。そのことを通じて、本研究でマレーシアの歴史教科書問題を分析する視角と方法を定めた。第二に、マレーシアの歴史教科書問題を論じた先行研究を批判的に検討し、既存の研究の達成点と盲点を明らかにした。

(2) 歴史教科書および関連資料の収集と言説分析

第一に、マレーシアの初等学校ならびに中等学校で使用された歴史教科書を網羅的に収集し、言説分析を行った。英領マラヤの歴史教科書に関してはすでに収集済みであるため、主に独立後の歴史教科書を収集した。続いて、歴史教科書の叙述の特徴と変化を探求した。イスラーム化以前のマレー世界、ムラカ王国とイスラーム化、植民地支配と多民族社会の形成、マレー人と非マレー人の位置づけ、ボルネオの位置づけ、第二次世界大戦と日本軍政、マラヤ共産党や他の左派勢力の位置づけ、マラヤ連邦の独立とマレーシアの形成、インドネシアやシンガポールとの対外関係、1969年の民族暴動などに注目しつつ、歴史叙述の構造と、歴史的事象の選択や個々の事象に関する叙述の特質を明らかにした。

第二に、歴史教育に関連する教科書以外の公的資料を網羅的に収集した。具体的には、 教育政策に関わる法規、報告書、カリキュラム、歴史科シラバスである。それらの公的資料に示された「正しい国史」のイメージとそれがはらむ問題や矛盾点を示した。

(3) 歴史教科書をめぐる論争の抽出と分析

主要な新聞・雑誌などの定期刊行物の記事を収集し、歴史教科書の叙述に関して展開された論争を抽出した。歴史教科書論争に関わる記事の分析を行いながら、歴史教科書論争における具体的な争点が何なのかを明らかにし、議論の対立軸がどこにあるのかを明らかにした。

5 . 主な発表論文等

〔雑誌論文〕(計1件)

<u>左右田直規</u>. 2017. 「国境を越える『マレー世界』運動の可能性と問題――ドゥニア・ムラユ・ドゥニア・イスラーム(DMDI)運動を中心に」『東洋大学アジア文化研究所研究年報』51: 276-277. (査読無)

〔学会発表〕(計2件)

<u>左右田直規</u>. 2016. 「戦前期英領マラヤのマレー語歴史教科書に見る歴史認識——イスラームに関わる記述を中心に」「東南アジアのイスラームと文化多様性に関する学際的研究」研究会(2016年7月)(東京外国語大学アジア・アフリカ言語文化研究所).

<u>左右田直規</u>. 2015. 「創られる多民族国家——マレーシアとシンガポールから考える」文京アカデミア(2015年11月)(東京外国語大学本郷サテライト)

[図書](計5件)

<u>Soda Naoki</u>. 2018. "The Transformation of Pan-Malayism in Post-war Malay(si)a." In *Islam and Cultural Diversity in Southeast Asia (Vol.2): Perspectives from Indonesia, Malaysia, the Philippines, Thailand, and Cambodia*, edited by Tokoro Ikuya and Tomizawa Hisao. Fuchu, Tokyo: Research Institute for Languages and Cultures of

Asia and Africa (ILCAA), Tokyo University of Foreign Studies, pp. 115-146.

<u>左右田直規</u>. 2018. 「植民地史の換骨奪胎——イブラヒム・ハジ・ヤーコブとマレー史の再構築」小泉順子編『歴史の生成——叙述と沈黙のヒストリオグラフィ』京都大学学術出版会, pp. 107-151.

<u>左右田直規</u>. 2017. 「朝日新聞大阪本社所蔵『富士倉庫資料』(写真)——マラヤ関係概説」早瀬晋三・白石昌也編. 『朝日新聞大阪本社所蔵「富士倉庫資料」(写真) 東南アジア関係一覧』早稲田大学アジア太平洋研究センター, pp. 211-273.

<u>左右田直規</u>. 2015. 「マレーシア料理~海の十字路の食文化——その多彩さとつながり」 沼野恭子編『世界を食べよう——東京外国語大学の世界料理』東京外国語大学出版会, pp. 76-81.

<u>左右田直規</u>. 2015. 「多文化空間における出会いと別れ――『タウンボーイ』を読む」ラット著(左右田直規訳)『タウンボーイ』東京外国語大学出版会, pp. 194-204.

〔産業財産権〕

○出願状況(計0件)

名称: 発明者: 権利者: 種類: 番号:

国内外の別:

出願年:

○取得状況(計0件)

名称: 発明者:

権利者:

種類:

番号: 取得年:

国内外の別:

〔その他〕

ホームページ等 なし

6 . 研究組織

該当せず